

令和4年8月

■一般文学

「本日のメニューは。」

・著:行成 薫

・出版社:集英社

入院中の父に、中華そばをなんとか食べさせたい二人の子どもたち。ラーメン屋の店主から中華そばを美味しく食べられるタイムリミットは「4分だ」と告げられます。毎日のようにお店に通い、運ぶ練習を行います。しかし、病室までの道のりに歩道橋があり、こぼさず運ぶのは至難の業。この厳しい状況に、周りの大人たちが立ち上がります。子どもから大人へのバトンで無事に中華そばは届くのでしょうか(「四分間出前大作戦」)。

5つの物語で構成されているこの小説は、どの物語を読んでも美味しい料理がもたらす力の大きさに圧倒されるでしょう。

(対象 一般)

■一般書

「町あかりの昭和歌謡曲ガイド」

・著:町 あかり

・出版社:青土社

著者であり、ご自身がシンガーソングライター、平成生まれの町あかりさんの昭和歌謡曲への愛情・リスペクトに満ち溢れた「ガイド」本です。最初の数ページを読んだだけで、その造詣の深さ、リアル世代真っ青の情報・知識量がみなぎり、何冊も続刊が出せそうな勢いです。インターネットをきっかけに、時にはCDを、あるいはLP盤・ドーナツ盤、はたまたカセットテープ、テレビの特番やDVDを見聞きして歌謡曲愛を育まれたようで、若い目線での「昭和」への憧憬がよく伝わりますし、メディアを柔軟に生かせる自由度も感じ取れます。皆さんも何かのきっかけで同じように当時聞き逃した名曲・傑作に巡り会えますし、現行の楽曲・映像作品も後で味わってその良さが解ればいい、そんな気分させてくれます。

ポップな表紙からも町さんのこだわり・愛・遊び心が感じられる、気楽に読める楽しい本です。

(対象 一般)

■児童書

「キッチン実験室 食べ物の「なぜ」を探ろう! 自由研究にも!」

・出版社:オレンジページ

料理って、じつ・は…科学なんです! パンがふっくらふくらんでいるのも、プリンがなめらかプルプルなのも、科学の力が働いているからなんです。毎日のごはんやおやつに登場する身近な食べ物だけど、できあがるまでにはふしぎがいっぱいです。温めたり、冷やしたり、混ぜたり、料理を通じて、ものの性質や変化を体験してみましょう。

夏休みに、どうして? なんでかな? をおうちのキッチンで探ってみてはいかがでしょう。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「きょうは、おおかみ」

・作:キョウ・マクレア

・絵:イザベル・アーセノー

・出版社:きじとら出版

「おおかみ」な気分の日、それは、おおかみみたいにむしゃくしゃする気分の日。そんな妹のバージニアを、姉のバネッサはなんとか笑わせたくて奮闘します。お菓子をすすめてもだめ。バイオリンを弾いてあげ

てもだめ。はたしてバネッサは、どんな方法でバージニアをおおかみ気分から助けるのでしょうか。

前半の、おおかみ気分を象徴する暗い色使いのページから、後半のおおかみ気分を抜け出した鮮やかな色のページへの移り変わりに注目です。

(対象 幼児から)